

令和4年度 地域DX促進活動支援事業 いわての成果報告



いわてものづくりDX推進コミュニティ（IMDC）
～Iwate Monozukuri DX promotion Community～

2023年3月9日（木） アートホテル盛岡
コーディネーター 伊藤 憲三



地域企業を取り巻く社会環境の変化

DXの活用 ビジネス創出のチャンス

☆ものづくり改革

☆人材育成



社会

人

市場・世代
の変化

顧客視点と思考軸

産業住所
分野と階層

行動・バイタル
の変化

適用技術と導入軸



リアル店舗



持続可能性

Maas



地域DX促進活動支援事業

北海道～沖縄 全国27の取組

(2) いわてものづくりDX推進コミュニティ（地域企業とのDX推進の課題分析・戦略策定の伴走型支援）

(13) 伝統工芸DXコンソーシアム（石川・富山：デジタルマーケティングと伝統工芸「漆」のDX化）

(14) 北陸地域デジタルプラットフォーム（富山・石川・福井：産学官金連携によるシムレス支援）

(19) ひろしまデジタルイノベーション推進コミュニティ（デジタルものづくり塾を拡充した産学連携によるDX推進）

(9) リビングラボ・アライアンス・ジャパン準備室（栃木・長野・秋田における新産業の共創と地域間リビングラボ連携）

(10) Japan Farm to Folk community（静岡・山梨・長野域企（食と農業に特化した産学官金NPOの連携によるDX化支援）

(24) One Kyushu DXイニシアティブ（福岡：科学的実践方法論による地域DXエコシステムの構築）

(16) 環境ビジネスDX推進フォーラム（大阪・兵庫・京都・志賀：関西圏の産学連携によるアジア市場への拡大）

(20) やまぐち産業推進DXコミュニティ（環境関連産業のDX推進：伴走支援＋マッチング支援）

(21) しまね地域DX拠点（少子高齢化による人口減少に対処する生産性向上を目的としたDX）

(17) 関西医療・ヘルスケア産業DXビジネス推進コミュニティ（大阪～和歌山を含む関西全域：医療機器から再生医療までDXによる製品）

(26) 九州DX推進コンソーシアム（福岡・熊本・長崎：掲載団体と金融機関の連携によるIT企業情報のDB化）

(23) 四国DXC（企業ネットワークの活用による県境を越えたノウハウの共有）

(27) 沖縄地域DX推進コミュニティコンソーシアム（IT×経営のコンサルティングとデジタル化支援）

(1) 北海道DX推進共同体（地域企業とITベンダーとのマッチング支援）

(3) 仙台・東北DXエコシステム（産学官金の横串を通じた円滑化の調整）

(4) 埼玉県DX推進支援ネットワーク（産業振興公社）

(5) 新潟県DX推進プラットフォーム（デジタル人材育成・成功事例の発信）

(6) 茨城・長野DX推進コミュニティ（地域単位のモデル創出に全国に展開）

(7) ケアテックによる地域介護事業者のDX（茨城・奈良・千葉・静岡の連携による介護デジタル化）

(8) 首都圏ものづくりDX推進コミュニティ（経営デザインシートの活用による課題分析・戦略策定・支援）

(11) 東海広域DX推進コミュニティ（愛知・岐阜・三重：製造、医療、介護を主とし、カイゼンデをデジタルで実現）

(12) 中部DX推進協議会（ものづくりが盛んな中部地域の生産性向上を目指す）

(22) 新居浜市IoT推進ラボ（愛知県：ものづくり企業の終結による新たなイノベーション創出）



いわてものづくりDX推進コミュニティ（IMDC） ～Iwate Monozukuri DX promotion Community～

IT企業・ベンダー
(例) システムベース

高等教育機関
岩大・県大など

産業支援機関
よろず支援拠点など

課題解決のノウハウやソリューション・知識・専門家派遣・課題
分析 経営に関する伴走型支援

DXを既に推進している（大手中堅）企業
(例)自動車部品・半導体・医療機器製造会社

岩手県

工場DXに必要なノウハウ等の提供

政策形成
企業支援における連携

いわて産業振興センター（ものづくり振興部・コーディネータ）

企業ニーズ収集・課題整理・周知・マッチング等の伴走型支援

I M D Cの構成と目標

先駆的なD Xモデルケース創出

ものづくり企業
I T（ベンダー）企業
ベンチャー企業

指導的
I T企業

実証実験先企業

D Xを既に推進している
大手・中堅企業

相互に支援しながら伴走型で
「底上げ・高度化」

企業間マッチング

支援チーム

課題整理

周知活動

各企業に適合した
実践プログラムの設計

産業支援機関
よろず相談

岩手県
ものづくり
I T産業振興

高等教育機関
岩大・県大

いわて産業振興センター
ものづくり振興部スタッフ・コーディネータ



伴走型で導く「DX推進」

- ・ C ➡ B 引き上げ（底上げ）
- ・ B ➡ A 移行（高度化）

多彩なコーディネーター

【中小企業デジタル化支援ネットワーク事業】

大道 颯二郎 コーディネーター



経歴：在学中にベンチャー企業に就職し、そこで出会ったデータベース（Oracle）に魅せられ、様々なデータを自在に扱うシステム構築、コンサルティングを始める。企業でのプログラミングと教育を経て、2006年株式会社セツエーティン設立、代表取締役就任。

専門分野：Oracle大学Master、Oracle Partner、Hakon、Fast Web、OpenCVなどの画像処理、C++、Javaなどを始めほとんどの言語、MCP、AWS、情報処理試験1種、Cisco Partner、故障サーバル構築など

これまで、電子カルテ、画像処理などをはじめ、多岐のシステム構築に携わり、現在は医療系を中心に、あらゆるシステム開発に力を入れている。現在は医療系を中心に、あらゆるシステム開発に力を入れている。現在は医療系を中心に、あらゆるシステム開発に力を入れている。



小川 美津夫 コーディネーター

専門分野：自動計測、品質管理

経歴：大手計測器メーカー及び大手情報ITベンチャー企業において、ITシステム構築・開発等に従事。その後、株式会社フロンティア総研を設立、代表取締役を務める

2012年より長野県、福島県、長崎県、岩手県などの産業支援機関にて、企業の技術高度化やITシステム開発等の支援を行っている

【地域DX促進活動支援事業】



伊藤 憲三 コーディネーター

専門分野：無線工学（移動体通信全般）、電子回路

経歴：工学博士。大手メーカー研究所、同志社大学ニューロセンシング&バイオハイブリッド研究センター、岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授・学部長・副学長等を歴任。現在岩手県立大学名誉教授

特にデジタル信号処理を基盤にした音声・音響工学を専門とする

【北上川/レーンDX推進・高度人材確保促進事業】



田中 裕也 コーディネーター

専門分野：ITシステム構築

経歴：ITベンチャーで13年間開発に従事し、その後、独立してITシステム関連会社（株）Badassを設立、代表取締役を務める。クラウド系、企業に必要な情報システム部のアウトソーシング等を手掛ける



池田 慶太 コーディネーター

専門分野：ITシステム構築

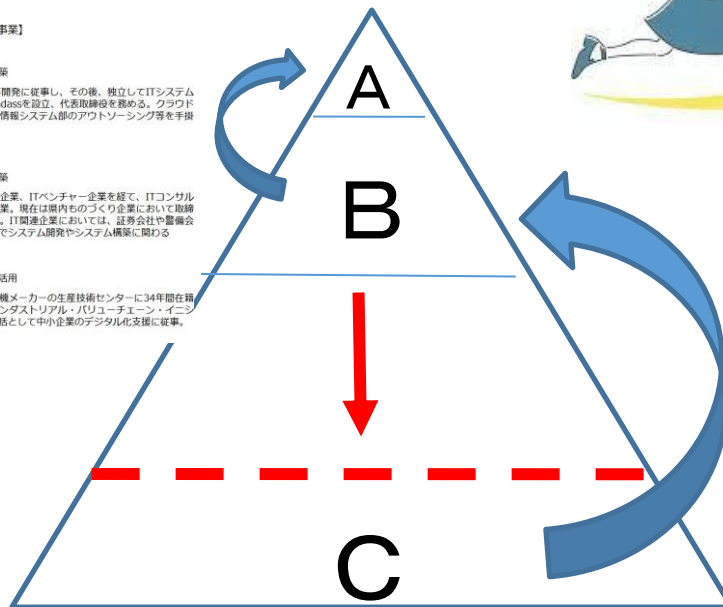
経歴：コンサルティング企業、ITベンチャー企業を経て、ITコンサルティング会社を起業。現在は県内でのづくり企業において助成金工場の構築。IT関連企業においては、証券会社や農協会社など様々な分野でシステム開発やシステム構築に関わる



古賀 康隆 コーディネーター

専門分野：データ分析・活用

経歴：工学博士。大手電機メーカーの生産技術センターに34年間在籍し、現在（一社）インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ 技術戦略として中小企業のデジタル化支援に従事。



伴走型で
きめ細やかで
継続的な支援

I M D C ➡ いわて方式
いわてものづくりDX推進コミュニティ



IMDCで行ったこと



<支援対象企業の掘り起こし>

- ヒアリング（81社）
- 課題の整理（13社）
- 伴走支援（5社）

- IPA「DX診断」の活用
- 課題の抽出・整理
- 戦略策定
- 支援

<伴走型による課題整理・分析・戦略策定>

- ・機運醸成のためのセミナー実施・HP広報
- ・ヒアリングによる課題発掘・分析・整理
（セミナー参加者：129名）

<県内企業とITベンダーとのマッチング>

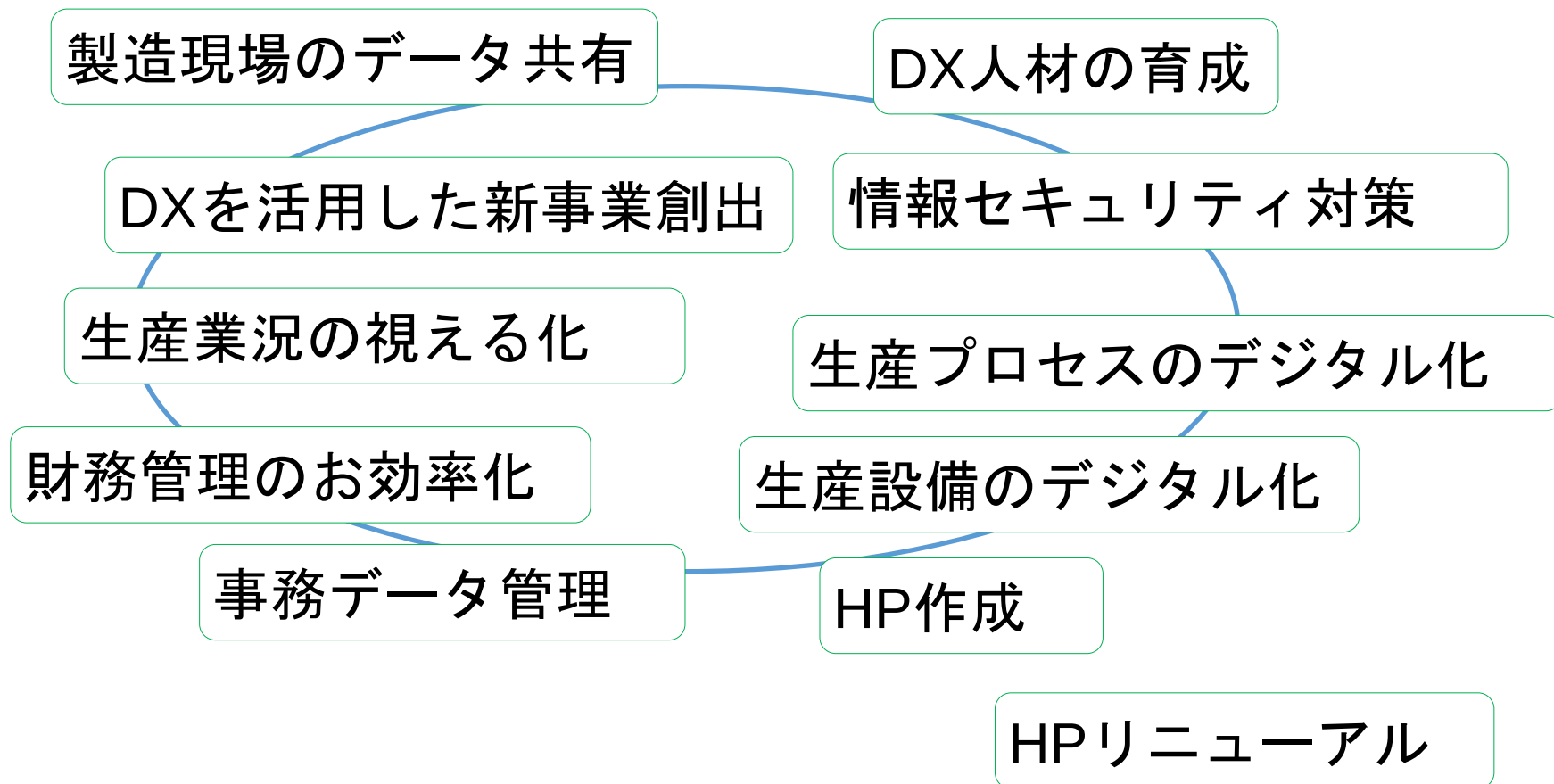
- ・DXコーディネータがITベンダー・大学等を選定
- ・企業と共にDX推進プログラムを作成（3社×10回）

<ITベンダー育成>

- ・COによる現場におけるDX勉強会
- ・工場視察会（3社×6回）



企業からの要望事例





IMDCの取組方法

・これまでのDX支援（部分最適な方法が多い）

課題



実行



改善

（例）稼働状況の把握をしたい！

☞ 見える化システム導入

☞ 稼働状況が見える化できた！

・IMDCにおけるDX支援（全体最適な手順・手段の選定）

課題



深堀→目的設定→戦略策定



実行



改善

（例）稼働状況の把握をしたい！

☞ 稼働状況がほんとうに課題か？

☞ 稼働状況把握か？或いは利益をあげたいのか？

☞ 利益をあげるための現状整理

☞ 3年計画のうち今年度は遊休施設を整理し改善しよう！

☞ 未来を見据えた最適解（稼働状況）の把握！

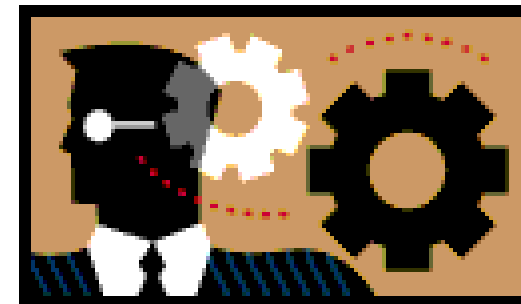


支援は難しい？！



- ・業務多忙につき 今年度のデジタル化の取り組みは見送り！

- ・生産状況の見える化の要望が多い
しかし、セミナー参加後、応答なし！
👉現状業務に押し流されている！？



事業者



アドバイザー
(事業者)

お効事務デー
タ

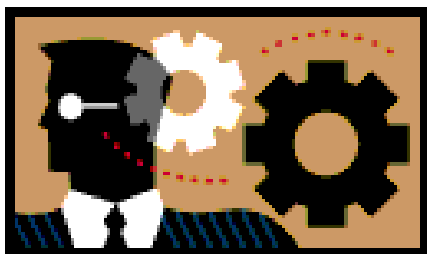
- ・材料供給切れを通知するシステムを
自社で内製するつもり でも今は大丈夫！
必要になったら助言を求めたい！

- ・機密保持契約の締結



コーディネータの気づき（社長編）

A社：社長の技量：企画から応用までできるスーパー社長・トップオンリーな体制で、デジタル化を推進！優れた社長の技量があれば、ある程度のDX化は可能か？！



B社：腰を据えた社長：デジタル化全体で将来的な内製化を目指した取り組みを優先。社長は、担当者の失敗に寛容で、中長期的な視点で人材育成をおこなっている！



コーディネータの気づき（社内編）

C社：トップと社員の意識の乖離：機器の改良や横展開は社長が考えて実施して満足。しかし、社員は「デジタル化で作業は楽になったけど、別になくてもよかった」という感じで、経営者と現場の意識の溝は意外と大きい？！



D社：部署横断的にDXチーム：営業・生産技術・総務で「部署横断的」な取組みで、工程全体の効率アップを達成。現場と経営者・総務の対立構造を対等な議論で克服。DXの社内改革の良き事例を感じた！



支援企業の一例

	業種 (従業員数)	目的(要望)	内容(支援者)	導入技術
A社	金属加工業 (116名)	自社生産工程を自動化し、自社製品の高付加価値化を図る	計測機器精密部品用自動外観装置のための技術を習得する (岩手大学理工学部)	センシング (画像処理)
B社	生産用機械器具製造業 (95名)	自社製品にユーザニーズの多い自動検査システムを搭載し、製品の高付加価値化を図る	DX対応部品加工装置(高速自動外観検査)のための技術を習得する (岩手大学理工学部)	センシング (画像処理)
C社	電子部品製造業 (42名)	自社生産工程のDX化を促進し、自社製品の高付加価値化を図る	既存自動機の稼働把握(見える化)及びデータ統合のために必要な技術を習得する (ビットエイジ)	データ分析
D社	金属加工業 (190名)	自社生産工程のFA化を促進し、自社製品の高付加価値化を図る	ロボット導入による自動加工システム構築のための技術を習得する (長島製作所)	ロボット
E社	金属製品製造業 (50名)	デジタル技術を活用した技術継承と人材育成を行う	熟練作業者の技術を座標化することにより、最適な動きを可視化し、作業の標準化を図るとともに担い手不足に対応する (岩手県立大学ソフトウェア情報学部)	センシング (加速度)



まとめ：DX普及促進は改善の繰り返し

◇DX普及促進：

目的



- ・付加価値向上、削減価値探求
- ・ビジネスモデル変革促進、価値創造

明確化

◎小さく始めて、将来拡張

動作環境



- ・エコシステム（生態系、共存共栄）
- ・SI不要、データ一元運用、セキュリティ

クラウド活用



- ・業務アプリケーション
- ・短期間構築と効率運用

視野360度



- ・外部コミュニティとの連携、情報活用
- ・SCMとECM軸の連動

道具

☆改善 (Improvement)

・カイゼン (KAIZEN) :

PDCA



CAPDo

- ・サイクルのスピードアップ
- ・継続的改善サイクル

C:現状把握→A:改善→P:計画→Do:実行



IMDC（いわて方式）のこれから

【中小企業デジタル化支援ネットワーク事業】



大迫 誠二 コーディネータ

経歴：在学中にベンチャー企業に就職し、そこで出会ったデジタルマーケティング（DMM）に魅力を感じ、様々なデータを自らに集めるシステムを開発。コンサルティングを始める。企業でのデジタルマーケティングの経験。2006年株式会社ヒットエッジ設立。代表取締役社長。

専門分野：Oracle Master, Oracle Partner, Hicon, Fast Web, Oracle VDIの企画・開発、C++, Javaなどを始めとするIT全般。MCP, AWS、情報処理技術者試験、Cisco Partner、企業サーバ構築など。

これまで、電子カルテ、医療機器などはじめ、多岐のシステム構築に携わり、現在は医療系を中心に、あらゆるデジタル化を総合的なシステムを構築するための企画・開発を行う。メーカーとの共同開発、プロトタイプ開発、デジタル化支援を推進するシステムエンジニアリング企業。



小柏 美津夫 コーディネータ

専門分野：自動計測、品質管理

経歴：大手計測器メーカー及び大手情報ITベンチャー企業において、ITシステムエンジニアとして、ITマーケティング等に従事。その後、ITベンチャー企業に転職。代表取締役を務める。

2012年より長野県、福島県、長崎県、岩手県などの産業支援機関にて、企業の技術高度化やITシステム開発等の支援を行っている。

【地域DX促進活動支援事業】



伊藤 薫三 コーディネータ

専門分野：無線工学（移動体通信全般）、電子回路

経歴：工学博士。大手メーカー研究所、同志社大学ニューロネンシング＆バイオナビゲーション研究センター、岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授、学部長・副学長を経て、現在岩手県立大学名誉教授。

特にデジタル信号処理を基盤にした音声・画像工学を専門とする。

【北上川/ハレーDX推進・高度人材確保促進事業】



田中 裕也 コーディネータ

専門分野：ITシステム構築

経歴：ITベンチャーで13年間勤務に従事し、その後、独立してITシステム構築会社（株）Budoを設立。代表取締役を務める。クラウド系、企業に必要な情報システム部のアウトソーシング等を手掛ける。



池田 憲太 コーディネータ

専門分野：ITシステム構築

経歴：コンサルティング企業、ITベンチャー企業を経て、ITコンサルティング会社を起業。現在は県内ものづくり企業において設備工場の導入を推進。IT関連企業においては、証券会社や警備会社など様々な分野でシステム開発やシステム構築に関わる。



古賀 康隆 コーディネータ

専門分野：データ分析・活用

経歴：工学博士。大手電機メーカーの生産技術センターに34年間勤務し、現在（一社）インダストリアル・バリューチェーン・イノベーション 技術統括として中小企業のデジタル化支援に従事。

相互支援型



自走型



横展開

お任せ型

伴走型



ご清聴ありがとうございました